くじ市議会だより

第14号
２００９年
（平成21年）
５月１日発行

― ３月23日から川崎町に移転し業務を開始した水道事業所新庁舎 ―

主な内容

・市議会を読む　３月定例会……２～３
・平成21年度予算審査……４～５
・委員会の審査から……６
・一般質問……７～13
・傍聴席からひとこと……14

発行／久慈市議会　編集／久慈市議会広報編集特別委員会　電話（直通）0194-52-2188
〈ホームページ〉http://www2.city.kuji.iwate.jp/gikai/

市議会を読む

◎第12回市議会3月定例会

子育て支援の充実、雇用対策の推進に重点配分

平成21年度当初予算を可決

第12回市議会3月定例会は、2月23日から3月16日までの22日間の会期で開かれ、初日には山内隆文市長が施政方針、岩城紀元教育委員長が教育行政方針を述べました。

3月定例会では、一般会計、特別会計及び水道事業会計の当初予算及び補正予算議案20件、条例等19件及び人事6件など市長提出議案45件について審議し、すべて原案のとおり可決しました。

当初予算については、予算特別委員会を設置し集中審査を行いました。

また、各会派を代表して4人、個人で3人の議員が市政の諸問題について一般質問を行いました。

委譲となった侍浜保育園での入園式

当初予算

●平成21年度一般会計予算

一般会計当初予算は、187億9530万1千円で、前年度の当初予算と比較して2億9854万7千円、1・6%の減となりました。

当初予算は、原案のとおり可決されました。

補正予算

●平成20年度一般会計補正予算（第4号）

一般会計補正予算は、9億3964万8千円を追加し、補正後の予算総額を221億3907万7千円とするもので、原案のとおり可決されました。

今回計上された補正予算の主な事業と予算額は次のとおりです。

・定額給付金給付事業

住民への生活支援と地域経済対策に向けた定額給付金の給付　6億3341万1千円

・学童保育施設整備事業

小久慈小学校区放課後児童クラブ整備　3300万円

・子育て応援特別手当事業

支給対象となる子一人につき3万6千円を給付　2567万1千円

・河川改良事業

白山川ほか　1452万円

・道路新設改良整備事業

純単独道路整備、森田中線ほか　1934万4千円

・公園整備事業

あすなろ公園トイレ改修　800万円

条例

3月定例会では、19件の条例等が審議、可決されましたので、主な議案の概要について紹介します。

●一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

全国的に医師確保が重要な課題となっていることを踏まえ、医師の初任給調整手当支給月額の限度額を「30万7900円」から「41万0900円」に引き上げようとするもの。

●市税条例等の一部を改正する条例

旧市村の合併協定項目に基づき、「不均一課税」となっている山形町分の国民健康保険税の税率を段階的に見直し平

成23年度に税率を統一するための2年度目の改正等をしようとするもの。

●へき地保育所条例の一部を改正する条例

市立繋保育園は、平成10年4月から児童数の減少に伴い休園しており、今後も児童数の増加が見込まれないことなどから本年3月31日をもって廃止しようとするもの。

●児童館条例の一部を改正する条例

市立小国児童館は、平成12年4月から児童数の減少に伴い休館しており、今後も児童数の増加が見込まれないこと、また児童館の敷地が借地であることなどから、本年3月31日をもって廃止しようとするもの。

●特別会計条例の一部を改正する条例

「工業団地造成事業特別会計」を廃止しようとするもの。

その他の議案等は、「議案等審議結果」及び6ページの「委員会の審査から」に掲載しました。

人事

●教育委員会の委員に鹿糠敏文氏（小久慈町）を任命することに同意しました。

●固定資産評価審査委員会の委員に下畑利蔵氏（山形町）、**畑中勇次郎氏**（川崎町）、**外里文人氏**（巽町）を選任することに同意しました。

●人権擁護委員に鳥谷峯道子氏（夏井町）、**髙屋敷眞喜子氏**（夏井町）を推薦することに同意しました。

議案等審議結果

第12回市議会３月定例会

【当初予算】	
○平成21年度久慈市一般会計予算	原案可決＝賛成多数
○平成21年度久慈市土地取得事業特別会計予算	原案可決＝全会一致
○平成21年度久慈市国民健康保険特別会計予算	原案可決＝賛成多数
○平成21年度久慈市老人保健特別会計予算	原案可決＝全会一致
○平成21年度久慈市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決＝賛成多数
○平成21年度久慈市介護サービス事業特別会計予算	原案可決＝全会一致
○平成21年度久慈市魚市場事業特別会計予算	原案可決＝全会一致
○平成21年度久慈市漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決＝全会一致
○平成21年度久慈市公共下水道事業特別会計予算	原案可決＝全会一致
○平成21年度久慈市水道事業会計予算	原案可決＝全会一致
【補正予算】	
○平成20年度久慈市一般会計補正予算（第4号）	原案可決＝賛成多数
○平成20年度久慈市土地取得事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決＝全会一致
○平成20年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	原案可決＝全会一致
○平成20年度久慈市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決＝賛成多数
○平成20年度久慈市介護サービス事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決＝全会一致
○平成20年度久慈市魚市場事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決＝全会一致
○平成20年度久慈市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決＝全会一致
○平成20年度久慈市工業団地造成事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決＝全会一致
○平成20年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第３号）	原案可決＝全会一致
○平成20年度久慈市水道事業会計補正予算（第３号）	原案可決＝全会一致
【条例等】	
○統計法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決＝全会一致
○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決＝全会一致
○電気通信格差是正事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	原案可決＝全会一致
○市税条例等の一部を改正する条例	原案可決＝賛成多数
○保育所条例の一部を改正する条例	原案可決＝賛成多数
○へき地保育所条例の一部を改正する条例	原案可決＝全会一致
○児童館条例の一部を改正する条例	原案可決＝全会一致
○老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例	原案可決＝賛成多数
○漁業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	原案可決＝全会一致
○特別会計条例の一部を改正する条例	原案可決＝全会一致
○工場等誘致委員会条例を廃止する条例	原案可決＝全会一致
○平庭高原施設条例の一部を改正する条例	原案可決＝全会一致
○岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	原案可決＝全会一致
○久慈広域連合の処理する事務の変更及び久慈広域連合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	原案可決＝全会一致
○財産の譲渡に関し議決を求めることについて（２件）（侍浜保育園、侍浜地区デイサービスセンター）	原案可決＝賛成多数
○市道路線の認定に関し議決を求めることについて（３件）（市道川貫線、市道川貫２号線、市道朝日線）	原案可決＝全会一致
【人事】	
○教育委員会の委員の選任に関し同意を求めることについて	原案可決＝全会一致
○固定資産評価審査委員会の委員の選任に関し同意を求めることについて（３件）	原案可決＝全会一致
○人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて（２件）	原案可決＝全会一致

討論

平成21年度一般会計予算は、本会議最終日に賛成多数で可決されました。

採決に際し、１議員が反対討論を、１議員が賛成討論を行いました。

反対　小野寺勝也　議員

侍浜保育園を民間に委譲すること。印鑑証明、住民票などの手数料を３００円に値上げすること。国保税を引き上げること。夢ネット事業で年間２０００万円前後の維持管理費を費やしながら、市民の満足度は乏しいことから反対である。

賛成　藤島　文男　議員

学童保育施設整備事業、久慈小学校改築事業、子育て応援特別手当事業等は、創造性豊かな人材を育てるまちづくりに合致した予算配分であるとともに市民の子育てを応援する施策として大いに賛成し高く評価する。

530万円を当初予算に計上

～対前年度比1.6%の減～

予算特別委員会

付託された平成21年度一般会計予算、各特別会計予算及び水道事業会計予算は、予算特別委員会（中平浩志委員長、小野寺勝也副委員長、議長を除く全議員で構成）を設置し3月10日から12日までの3日間、集中審査を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

●平成21年度一般会計予算の概要

歳出予算の総額は、187億9530万1千円。この予算規模は、前年度予算額と比較して2億9854万7千円、1・6%の減となったが、国の地域活性化・生活対策臨時交付金等を活用し、切れ目のない予算執行ができるよう、平成20年度3月補正と連続した14ヵ月予算の編成を行い実質7億3514万9千円、3・9%の増となった。

中平予算特別委員長

主な質疑

【問】小久慈小学校の学童保育所建設について、建設場所の候補予定地はどこか。

【答】小久慈学童の建設は補正予算で予算化しており、これから小久慈地区の学童クラブや関係の方々と十分に話し合いをしながら、適切な場所を決めていきたい。

【問】街なか再生推進事業で行う県立病院跡地整備の具体的内容は。

【答】現在、サインなど案内標識の整備、植栽、2カ所のポケットパーク、県立病院跡地の広場整備事業を進めている。21年度は県立病院跡地の広場、駐車場部分から巽山公園にかけてのアクセス部分について、スロープ状の散策路を設け、整備するとともに周辺の緑地化を図り、憩いの空間として整備する。

【問】起業立地奨励補助金の内容は。

【答】起業立地奨励補助金は、市外に住所または事業所を有する者が、市内に工場または特定事業所を新設、増設する場合に土地や建物の賃貸借に要する経費について、新規雇用者数二人以上のとき賃料の2分の1以内で月額5万円を限度とし24カ月を上限として助成するもの。

新年度は内容を拡充し、市内の会社にも適用させ、雇用規模に応じて限度額を最大50万円まで段階的に助成しようとするもの。

【問】橋梁点検事業で今年度予定していた20メートル以上の橋、53橋の点検は終了したのか。また、21年度に点検する橋の数と点検の結果、緊急を要する修繕箇所等がなかったか。

【答】車道橋306橋のうち20年度は166橋の調査が終了しており、21年度は140橋を調査し、調査は21年度で完了する。

20年度調査分は21年度に、21年度調査分は22年度に修繕計画を立て、修繕の必要なものは優先度等を考えながら順次取り組んでいきたい。

現時点で緊急的に対応しなければならない橋の修繕箇所はない。

【問】市民バスが運行を開始して1年になるが、運賃収入の予定額と実績との開きが10%を超えて下回っている路線はあるのか。

【答】6契約のうち運賃収入が10%を上回っている路線が2路線、プラス・マイナス10%以内の路線が1路線、10%を下回った路線は3路線となっている。

運行を開始して1年になる市民バス

【問】栄町の市営住宅移転の具体的内容は。

【答】現在、学校給食センターを建設しており、移転後に既存の学校給食センターを解体して、建設する予定である。

構造は鉄筋コンクリート3階建て、戸数は24戸であり、

平成21年度　一般会計

187億9

3月補正と連続した切れ目のない14カ月予算

大半が21年度に繰越となる3月補正予算と合わせて　実質3・9％増

3DK6戸、2DK18戸の計画で、高齢者や軽度の身障者が使いやすいものを設計している。

【問】借家などの火災警報器の設置義務者は法律上だれになるのか。

【答】住宅用火災警報器の設置義務者は関係者であり、所有者、管理者、占有者となる。賃貸の場合は、その賃貸契約の内容で決定する。

【問】久慈小学校の改築事業の概要と改築の見通しは。

【答】21年度は、基本設計、実施設計、地質調査業務及び用地測量等を予定している。

今後の計画は、栄町の市営住宅の移転などもあり、詳しい時期は決定していない。

平成21年度当初予算の状況

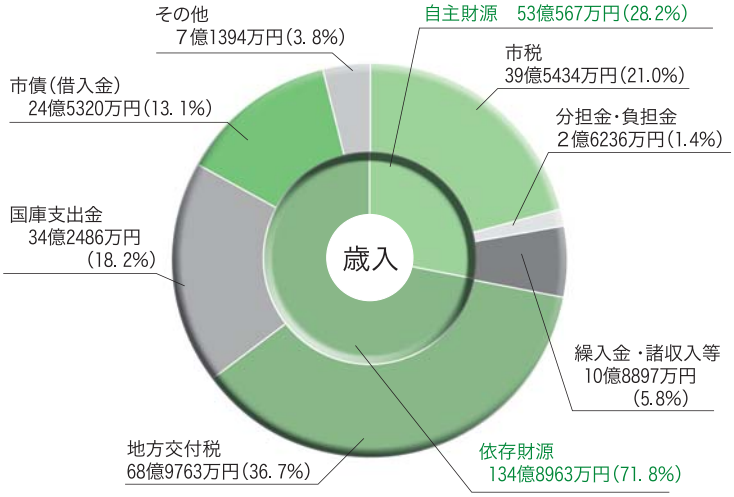
（△は減、単位：％）

会計名			予算額	前年度増減額	伸率
一般会計			187億9530万円	△2億9855万円	△1.6
特別会計	土地取得事業		2372万円	△46万円	△1.9
	国民健康保険	事業	42億9159万円	2396万円	0.6
		直診	2億7733万円	△3454万円	△11.1
	老人保健		1174万円	△2億5569万円	△95.6
	後期高齢者医療		2億6157万円	△426万円	△1.6
	介護サービス事業		1億 447万円	△694万円	△6.2
	魚市場事業		2613万円	△33万円	△1.3
	漁業集落排水事業		3億8604万円	236万円	0.6
	工業団地造成事業		0円	△2万円	皆減
	公共下水道事業		14億5069万円	2191万円	1.5
	計		68億3328万円	△2億5401万円	△3.6
合計			256億2858万円	△5億5256万円	△2.1
水道事業	収益的支出		7億8332万円	△819万円	△1.0
	資本的支出		6億2608万円	△1億0631万円	△14.5

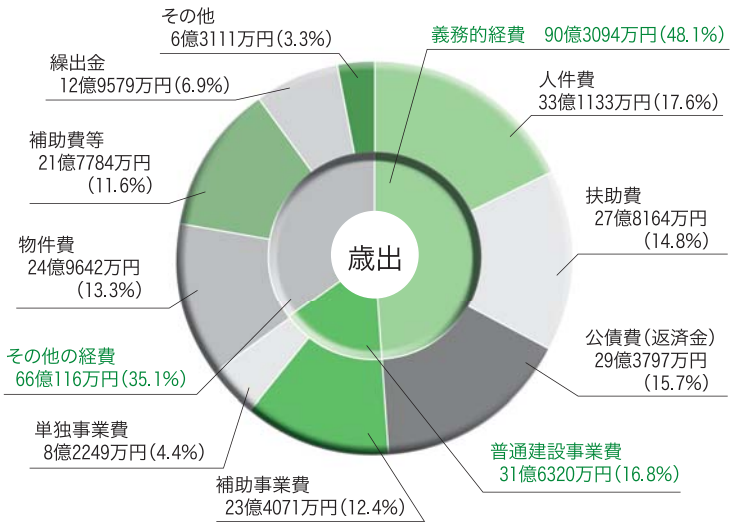
（注１）１万円未満四捨五入。（注２）端数処理のため合計が不一致となる。

平成21年度一般会計当初予算

カッコ内は構成比



総額　187億9530万円



委員会の審査から

総務、教育民生、産業経済、建設の各常任委員会を3月6日に、それぞれ開き審査しました。

総務

付託された議案6件を審査しましたので、そのうち1件の概要を紹介します。

●平庭高原施設条例の一部を改正する条例

いわて体験交流施設・平庭高原自然交流館「しらかばの湯」が整備され、センターハウス平庭山荘の浴室が不要となったことから、施設の効率的利用を図るため、浴室を研修室に改修したことに伴い、条例から浴室の項を削除しようとするもの。

【問】平庭山荘の利用実績と改修費はいくらか。

【答】平成19年度の宿泊者は大人、子供合わせて1419人、有料入浴者は年間約1500人、金額にして約45万円。平成20年度は、2月末現在で、宿泊者が大人1776人、子供66人の合計1842人の利用がある。

改修費用は、総工事費1391万8800円である。

そのほか、浴室を研修室に改修した経緯などについて質疑が交わされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

教育民生

付託された議案7件を審査しましたので、そのうち1件の概要を紹介します。

●保育所条例の一部を改正する条例

集中改革プランに基づき、久慈市立侍浜保育園を社会福祉法人侍浜福祉会に委譲することに伴い、平成21年3月31日をもって廃止しようとするもの。

【問】法人選定委員会の内容は。

【答】選定にあたっては、8名で構成する法人選定委員会において、現在の保育内容と同等以上であることを審査の基準とし、保育園13項目、デイサービスセンター15項目を審査したところ基準を大幅に上回っていた。

そのほか、委譲先との引継ぎ方法、職員の労働条件などの質疑が交わされ、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

小国児童館の調査をする教育民生委員

産業経済

付託された議案3件を審査しましたので、そのうち1件の概要を紹介します。

●漁業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

本年3月に桑畑地区漁業集落排水処理場が完成することから、4月から施設の一部を供用開始するため、条例に追加しようとするもの。

【問】地区の受益戸数と受益者人数は。

【答】受益戸数は121戸、受益者人数は371人であるが、供用開始となる受益戸数は73戸である。

そのほか、施設の内容、総事業費などの質疑が交わされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

桑畑地区排水処理場での産業経済委員

建設

付託された議案3件を審査しましたので、そのうち1件の概要を紹介します。

●市道路線の認定に関し議決を求めることについて

本案は、起点を山形町日野沢第4地割地内、終点を日野沢第3地割地内、路線認定延長234・1m、現況幅員4mの朝日線を新たに市道として認定しようとするもの。採決の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

市道認定路線を調査する建設委員

●一般質問 ―― 新政会 木ノ下 祐治 議員

長期間同じ業者が同じ業務を落札できるのか

市長―指名競争入札により公平・公正な入札を行っている

【問】長期間同じ業者が同じ業務を落札することはあるのか。

【答】入札は指名競争入札により行っており、入札参加資格者名簿に登載されている者のうちから市内に本社または営業所等を有する事業者を優先的に指名している。

物品等は3社以上を、工事等は5社以上を原則指名し、公平・公正な入札を行っており競争により低い価格で入札した業者が落札することになる。今後も、市内事業者が優先的に入札に参加できるよう運用していきたい。

侍浜停車場阿子木線の改良見通しは

【問】侍浜駅から国道395号までの県道侍浜停車場阿子木線の拡幅改良見通しは。

【答】交通量や経済効果等を勘案しながら事業化について検討を進めるが、当面事業化は難しい状況にあると久慈地方振興局土木部から聞いている。市としては、避難所の設置を含め、路線の拡幅改良について、機会をとらえて要望していきたい。

拡幅が望まれる県道侍浜停車場阿子木線

【問】侍浜町北野から堀切までの市道北野線の側溝整備は。

【答】市道北野線には側溝蓋が設置されていない部分があることから、財政事情等を勘案しながら計画的に設置したいと考えている。

【問】森林を永続的に後世に引き継ぐために計画的な管理を行う森林認証について、どのように取り組んでいるのか。

【答】森林認証は自然環境に配慮した適正な管理を行っている森林の木材を消費者が選択して購入することができるよう、第三者機関が審査し認証マークを与えるもので、このシステムは森林所有者のみの認証ではメリットが少なく、伐採業者、加工業者それぞれが一連となって認証を受けることにより効果を発揮できる仕組みである。登録費用及び更新費用等も必要となることから、今後の研究課題と考えている。

【問】学校給食の食べ残しの状況と対策は。

【答】学校給食の残食率は、平成21年1月末現在、パンが12・6%、米飯が9・9%で過去5年間の推移では、パンが6・2ポイント、米飯が3・7ポイントそれぞれ減少している。食べ残しの解消策は、食に関する指導や試食会等を通じて献立の研究、味付けの工夫、児童生徒のアンケートによるリクエスト給食を実施するなど、解消に努めてきた。新学校給食センター完成後は最新調理機器の導入により献立の多様化が図られることから、さらに工夫を凝らし解消に努めていきたい。

各会派の関連質問

一般質問は、3月4日・5日の2日間行われ、各会派を代表して、木ノ下祐治、髙屋敷英則、小野寺勝也、下舘祥二の各議員が代表質問を、

また、小倉建一、梶谷武由、山口健一の各議員が個人質問を行いました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

新政会

◆上山 昭彦 議員

上長内長内橋線に歩道の設置を

【問】旧国道45号の市道上長内長内橋線は通勤通学時間帯の交通量が多いことから車両や歩行者が安全に通行できるよう、上長内日吉町線とのT字路交差点付近に歩道を設置できないか。

一般質問

清風会　髙屋敷　英則　議員

新過疎法に対する市の対応は

市長―ソフトを含む適債事業の拡大等を要望

【問】 来年4月から新たな過疎法が制定される見通しである。対象となる過疎地域や限界集落では、道路や橋の基盤整備のほか地域力の向上を目指したソフト面の充実が求められるが市の対応は。

【答】 過疎地域自立促進特別措置法は、平成22年3月末をもって失効となることから新たな法律の制定について市長会等を通じ要望している。

また、新法の制定にあたっては合併市町村への特別措置の継続のほかに新たな指定要件の設定及びソフトを含めた適債事業の拡大等過疎対策の充実を図るよう要望している。

【問】 県立久慈病院の産婦人科医師の確保対策と院内助産師の配置状況及び増員計画は。

【答】 産婦人科医師の確保、増員については県知事部局及び医療局等関係機関に対して強く要望している。

院内助産師の配置は昨年5月で、現在18名の助産師が院内助産及び外来への対応を行っており、当面増員の必要はないと県立久慈病院から聞いている。

つどいの広場を利用する親子

【問】 子育て支援センターの利用状況は。また、共働きの家庭を考慮した事業の土日開催や「つどいの広場」と連携した事業など、子育てニーズに応えるための市独自の取り組みは。

【答】 子育て支援センターの年間利用人数は、平成18年9556人、平成19年10257人と堅調に推移しており、赤ちゃんサロンなどへの事業参加も約2300人となっている。土曜日は自由来所を基本に午後1時30分まで開所している。平成21年度は父親が参加する事業の実施や開催場所、開催日など考慮した子育て支援の充実に努めたい。

景気と雇用の状況は

【問】 当市の景気と雇用の状況及び雇用対策は。

【答】 本年1月久慈管内における有効求人倍率は0・29倍、平成20年度の市内企業の倒産及び撤退は5事業所、解雇者数114人、失業者数92人、再就職者数44人と久慈公共職業安定所から聞いている。市では単独の緊急雇用対策事業や就労機会創出特別事業を実施してきたが、関係機関と連携を取り一層雇用の創出に努めたい。金融機関による貸し渋り、貸しはがし等については中小企業者の声を把握して今後の施策に反映したい。

【問】 川井住宅線（仮称）の着工見通しは。

【答】 この路線は市道認定が必要となることから地元関係者の方々と協議しながら検討したい。

【答】 上長内長内橋線は、小屋畑川が並行しているため道幅が非常に狭く、用地の確保が難しいことから歩道の設置は困難が予想される。

T字路交差点から上流側は、上長内橋から赤線道路を活用することで歩道の設置が必要なくなり、下流側は、民家が道路に接していることから用地の提供があれば整備の検討を進めたい。

◆泉川　博明　議員

野田長内線の道路崩落防止策を

【問】 県道野田長内線は、現在擁壁の応急復旧工事を実施しているが、えぐり取られている場所が広範囲に及んでおり補強対策が十分とはいえない。

市としても県と一体となって対策を図るべきでは。

【答】 県道野田長内線の広内付近の高波による災害未然防止対策は、現在、応急復旧工事として擁壁の根継工を実施している。

来年度は、波浪対策を検討するための調査費を予算要求している段階であると久慈地

●一般質問

日本共産党久慈市議団　小野寺　勝　也　議員

特養ホーム入所待機者の解消策は

市長―３年間に14施設、定員309人の施設を整備

【問】特別養護老人ホームへの入所待機者が２００数十名にのぼり、施設整備促進が急務となっている。施設整備計画の見通しは。

【答】久慈広域連合の第４期介護保険事業計画において、平成23年度までの３年間に、介護老人保険施設をはじめ各種介護保険施設等14施設、定員数で３０９人の施設整備を計画していると久慈広域連合から聞いている。

介護老人福祉施設「ぎんたらす久慈」

【問】県立久慈病院は麻酔科、耳鼻咽喉科の常勤医師が不在、呼吸器科の医師も不在になるといわれ、かつ産婦人科医の複数体制が崩れ、患者が二戸市や盛岡市にまわされる例が多くなり、市民の医療に対する心配と不安が募っている。管内の町村長と連携し県・岩手医大に医師確保の要請をすべきと思うが。

【答】常勤医師の確保については県・岩手医大に強く要望しているが、医師の絶対数の不足から早急な医師確保は厳しい状況と考えている。管内の町村長と連携し要請することについては、昨年12月19日にも県医療局に要請したが、今後も適宜連携して対応していきたい。

健診料の減免拡大を

【問】国保特定健診、後期高齢者健診の健診料は各種がん検診と合わせると５０００円から８０００円となり自己負担の軽減が必要。県内では宮古、花巻市などが無料である。受診率の向上のためにも特定健診料の減免をすべきでは。

【答】国保特定健診は、生活習慣病など疾病予防に重点をおいた健診で、市特定健康診査等実施計画では平成24年度までに受診率65％達成を目標に設定している。減免は現在、住民税非課税世帯と70歳以上を無料としているが、今後の拡充については財政状況や他市の動向を見ながら検討していきたい。

【問】農業の再生と食料自給率の向上は地域経済全体を再生させる土台となることから、地域循環型の経済を構築するための、学校給食への地元食材の利用向上策及び飼料用米の栽培奨励策は。

【答】地産地消推進による農林水産業の振興、食の安全・安心、学校給食食材調達に係る課題整理と対応策の検討を目的として久慈市地産地消推進検討会議を発足した。

飼料用米の栽培奨励は耕作放棄地対策、飼料自給率の向上対策として有効であり、需要が見込まれることから、久慈市水田農業推進協議会で産地確立交付金の対象作目に位置付けており、作付け奨励制度の周知を図っていく。

方振興局土木部から聞いている。市としても、早期に恒久対策が実施されるよう要望していきたい。

◆澤里　富雄　議員

雇用対策でマイマイガ対策を

【問】今年もマイマイガの大量発生が懸念されており、マイマイガの卵がふ化する前に駆除することが有効と考えられる。

マイマイガ防除のための雇用の考えはないか。

【答】市の緊急雇用対策として平成21年度も就労機会創出特別事業等を継続実施するほか、国の第二次補正予算で打ち出された緊急雇用創出事業及びふるさと雇用再生特別基金事業などを活用し、さらなる雇用機会の創出を図る考えである。その中でマイマイガ幼虫防除対策事業などにより市の施設のマイマイガ対策を実施する。

◆中平　浩志　議員

自主財源の確保策は

【問】景気悪化に伴い市税等の自主財源の減収が予想され

一般質問

政和会　下舘祥二　議員

家庭用太陽光発電の普及推進は

市長―国の補助制度の周知、温暖化防止の啓発に努める

【問】家庭用太陽光発電の普及に向けた推進策は。

【答】市内における住宅用太陽光発電システムの導入件数は、本年1月末時点で、85件と東北電力株式会社久慈営業所から聞いている。

今後においては内容が充実し1月から募集が開始された国の「住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金」の周知のほか、温暖化防止に向けた行動の啓発にも努めていきたい。

【問】木質バイオマスについてどのような取り組みを行なっているのか。

【答】久慈・二戸・八戸の三圏域連携懇談会において、三市の担当部及び久慈・二戸の地方振興局と三八地域県民局の林務部と総務部等が加入した木質バイオマス専門部会を設置し検討を進めている。

住宅に設置されている太陽光発電パネル

現段階では、木質バイオマス活用の木質産物は広く存在しているため、収集・運搬のコスト高や、まとまった量の確保などの問題について、先進地事例の勉強会や視察研修等を行っているところであり、今後も三圏域連携の中で検討を深めていきたいと考えている。

【問】短角牛生産農家に対する支援策は。

【答】繁殖雌牛は、減少傾向にあったが平成20年度に431頭と増えており、肥育出荷頭数は、3百頭後半で推移している。

繁殖農家に対しては、優良雌牛の増頭対策として「日本短角種増頭対策事業」を実施しており、さらに種牛管理に係る農家及び牧野組合の負担軽減のために、「優良種雄牛利用促進対策事業」を実施している。

肥育農家に対しては、国の肉用牛肥育経営安定事業への農家積立金の一部を助成する「肉用牛肥育経営安定事業」を実施するとともに規模拡大に必要な低コスト牛舎や粗飼料生産機械等の整備に対しても支援している。

今後も農家の意見を踏まえ関係機関と一体となって支援していきたいと考えている。

スポーツ振興策は

【問】国体開催を契機とした当市のスポーツ振興策は。

【答】小中学校を対象とした「久慈少年柔道強化遠征事業」の実施や、県の「スーパーキッズ発掘育成事業」への積極的な参加促進など競技力向上に努めている。

今後も関係団体と連携を図りながら、中・長期的な視点に立った選手育成に取り組んでいきたい。

清風会

◆畑中　勇吉　議員

雪害による支障木の除去対策は

【問】雪害により道路に木が倒れて車両の事故が起きたと聞いているが、冬になる前に道路の支障木による事故が起こらないよう対策が必要では。

【答】道路パトロールや市民の情報をもとに市道の交通安全対策を講じているが、支障木等の撤去は、所有者に対し枝などの切り払い、撤去をお願いしている。

所有者において枝の切り払いるが、その対策をどのように考えているのか。

【答】世界的な不況に伴い、今後市税を初めとする自主財源の大幅な減収が予想されるが、歳入の規模に見合った歳出構造の確立を目指し、市政改革プログラムに基づき策定した財政健全化計画の着実な実行や、ムダ・ゼロに向けた歳出の見直しを行うとともに、これまで以上に選択と集中を進め限られた財源の重点的かつ効果的な活用に努めたい。

●一般質問 ―― 民主党 小倉建一 議員

久慈小改築に伴う代替市道整備は

市長―全体エリアをとらえて検討したい

【問】栄町市営住宅間にある交通量も多い市道の代替道路は久慈小学校改築に伴いどうなるのか。

【答】代替道路の新設整備には、堤防への取り付け協議等が必要であり、今後県等との協議をしながらエリア全体をとらえ検討していきたい。

代替道路が必要な市道久慈小通り線

【問】中心市街地全体の活性化及びにぎわい創出のための今後の街なか再生対策は。

【答】旧久慈病院跡地広場整備、巽山公園及び小鳩公園整備を進めるとともに、現在、県に大規模小売店舗立地法の特例区域設定を要請しており、中心市街地の回遊性を高めるため、集客力のある大型店の誘致と中心市街地出店費補助制度などによる小売店舗等の出店促進に努めたい。

【問】夢ネット事業の第二段階として、各家庭の軒下までのネット網整備は、今後どのようにするのか。

【答】夢ネット事業のプランを作成した時点より技術力の向上や低コスト化が図られており、現在の通信技術で対応できることから地デジ、携帯電話、ブロードバンドへの対応を目的としたケーブル網の整備は消極的に考えている。

【問】県が打ち出した一次産業活性化と就業支援を進めるための六次産業化に連動し、加工研究等ができる施設整備の考えはないか。

【答】一次産業それぞれの分野の加工研究施設等が必要になってくることから、それぞれの分野の団体等に準備をしていただき、その後の側面的支援などの対応をしたい。

【問】太陽光発電が注目されている。過去に太陽光発電パネル製作会社の誘致に動いた経緯があると聞くが再度の誘致運動の考えは。

【答】かつて折衝したことがあり、有望な分野でもあることから、新年度に向けた戦略のなかで検討していきたい。

【その他の質問項目】
ふるさと納税／自然エネルギー活用／いわて森のトレー裁判状況／スポーツ振興　ほか

いができない場合は、所有者の了承を得て、道路管理者ができる範囲の中で対応をしている。今後も市道のパトロールを強化しながら交通の安全対策に取り組んでいきたい。

◆堀崎　松男　議員

久慈夏井線の整備見通しは

【問】市道久慈夏井線は久慈東高校まで整備が進み、夏井までの区間も調査は終わって、設計の段階まできていると聞いている。今後の整備見通しは。

【答】門前から夏井町早坂間の整備には多額の工事費を要することから、県代行事業を目標としている。その前段として補助事業の採択に向け県と協議を重ねており、国庫補助金を投入して整備をすることの必要性等を示す比較検討データ作成のための調査を進め事業採択に向け努力している。

◆八重櫻　友夫　議員

旧長中校舎は郷土資料館に

【問】旧長内中学校の校舎を活用した文化財保管・展示施設には、たたら館の資料等も保管されているが、保管施設としてではなく、郷土資料館などとして活用すべきと思うが考えを示せ。

【答】旧長内中学校の二階の6室を展示スペースとして民俗資料、埋蔵文化財、小田為綱、小田観蛍、たたら館資料等を展示する。

4月下旬のオープン時に一週間程度、説明員を配置して公開し、それ以降は見学者の希望を受けて、その都度、展示室の開放をしていく考え方で進めている。

日本共産党久慈市議団

◆城内　仲悦　議員

介護保険計画説明会は工夫を

【問】2月24日に開催された第4期介護保険計画の説明会は、市民がもっと参加するようにすべきではなかったのか。

【答】第4期介護保険計画に関する説明会の当日の出席者は6名であり、広報や事業所等に通知をしたが、介護保険制度に大きな変更が予定されてないことからあまり関心が

●一般質問

社会民主党　梶谷　武由　議員

岩手朝日テレビの難視聴解消策は

市長―大川目中継局の確実な設置と岩手朝日テレビへの要請

【問】栄町、天神堂地区から大川目町まで地デジの電波を受信できない家庭は何世帯か。大川目中継局では岩手朝日テレビの中継は予定がない。岩手朝日テレビの難視聴解消はどう対応するのか。

【答】同地区の岩手朝日テレビの難視聴は２０６０世帯であり、大川目局の確実な整備を要請するとともに岩手朝日テレビへ中継局設置を要請していく。放送事業者が行う事業に対しても市単独でも光ケーブルの開放、鉄塔設備へのかさ上げ補助などを行政が支援し難視聴の解消をしていきたい。

【問】精神疾患による教職員の休職が文部科学省の調査でも過去最高となっている。岩手県でも昨年に比べ増加しているが、市内の状況は。また休職者が復職する場合、復帰に対する不安の軽減、円滑な職場復帰、再発防止のための「岩手県教職員職場復帰訓練要綱」による復帰訓練の実施状況と校長や学校への指導は。

【答】今年度新たな休職者１名、復職者１名で現在の休職者は１名となっている。復職にあたっては、本人の意思のほか家族の意向、主治医の了承のもと、要綱に基づいた対応をしている。復帰訓練は強制ではなく、要綱に基づいて行うものであることを学校に対して周知している。

【問】旧長内中学校に保管してある郷土資料は、生産・生活用具、学習用具、出版物、書物など多数あり、保管ではなく積極的に活用すべきと思うが今後の計画は。

【答】資料は、毎年テーマを設けて一般公開を行っているが、本年４月にオープン事業を行い、今後は期間を定めて公開し、その後は希望に応じて対応していきたい。

【その他の質問項目】

新年度予算編成／非核平和都市宣言のＰＲ／定額給付金／市民バス／久慈小の学童施設／学校再編／久慈小改築計画

郷土資料が展示されている旧長内中学校

なかったものと思う。

参加者が少なかったことについては反省し、もっと参加者が増えるような方法を考えたい。

今後の説明会は開催時間、場所等を検討したうえで広域連合と協議し連合職員の出席も要請したい。

政和会

◆藤島　文男　議員

広域振興局設置の取り組みは

【問】広域振興局が当市に設置されるよう今後もあらゆる機会を通じて訴え続けるべきと思うが考えを示せ。

【答】県北としての特性と沿岸としての特性を併せ有するこの地域にこそ広域振興局は設置されるべきである。また出先機関は、本庁から遠隔地にこそあるべきであり、こういった観点から訴えており、主張が認められるだろうと認識しているが、最終決定までは広域振興局が久慈管内に設置されるよう機会をとらえて訴えていきたい。

◆砂川　利男　議員

夢ネットは公共施設以外にも接続可能か

【問】夢ネット事業で導入した国の地域イントラネット事業は公共施設間だけを結ぶ事業といわれているが、それに接続して各家庭まで配線することは認められているのか。

【答】地域イントラネット事業では、公共施設間のネットワーク構築のみであるが、同時に整備した単独事業による光ケーブルは、各地域への延長は可能である。

◆佐々木　栄幸　議員

森のトレーの結審はいつか

【問】いわて森のトレーに関する裁判の結審は最終的にいつごろになるのか。

【答】現在のところようやく双方の主張の論点が整理されつつあるというような段階である。

今後、その論点を具体的にどのような物証、あるいは証人で証明していくかという段階等もあることから、盛岡地方裁判所での結審の見通しは全くわからない状況である。

●一般質問 ―― 公明党 山口健一 議員

小・中学校の耐震化の見通しは

教育長―早期の耐震化に努める

【問】 国では学校の耐震化を強化するとしているが、当市においても早急に耐震化を進めるべきと思うが、今後の整備の見通しは。

【答】 学校の耐震診断は、17校49棟のうち14校35棟が完了している。

耐震化工事は耐震診断を実施した14校35棟のうち12校23棟の補強工事が必要であり、現在9校15棟が補強工事を終えている。今後も早期の耐震化に努めたい。

耐震補強工事予定の大川目中体育館

【問】 大川目農村センター及び山根生活改善センターのトイレの水洗化を早急に進めるべきと思うが整備見通しは。

【答】 施設の水洗化は利用者の利便性、環境保全の面からも進めるべきと認識しており、他の施設の水洗化や市全体の事業の優先度等を勘案しながら計画化に努めたい。

【問】 小・中学校の学校図書の充実策と図書ボランティアの配置等はどのように考えているか。

【答】 学校図書の充足率は平成19年度末で78・8％となっている。

平成21年度の図書購入経費は対前年比26・5％増となっており、今後においても継続的に予算確保に努め学校図書館図書標準の冊数の達成に努力していきたい。

図書ボランティアは、学校だけが責任を負うのではなく、これまで以上に学校・家庭・地域の連携協力が不可欠な状況にあり、学校が地域と積極的に連携し取り組むことが必要だと思っている。

久慈小に太陽光発電を

【問】 子どもたちの環境学習のために、久慈小学校改築に合わせて、太陽光発電を積極的に導入すべきと思うが考えは。

【答】 久慈小学校に太陽光発電施設を整備することについては、市長部局と協議をしながら、これからの計画に向け十分検討していきたい。

◆桑田 鉄男 議員

私有林間伐事業のPRを

【問】 いわての森づくり県民税活用事業には、一定の要件を満たせば所有者の負担がなく私有林の間伐ができる事業もあると聞いているが、積極的に情報提供を行うべきでは。

【答】 いわての森づくり県民税活用事業の一つ、「いわて環境の森整備事業」は、全額補助を受けて公益林の私有林等を間伐する事業であるが、まだ私有林所有者の方々に広く周知されていないことから久慈地方振興局林務部、森林組合等と連携を密にしながらPR活動に努めていきたい。

◆大沢 俊光 議員

宇部地区ほ場整備、初期の対応重要

【問】 宇部地区のほ場整備を進めるうえで初期段階の対応が重要であり、地区の意向に配慮した初期の対応をすべきと思うが考え方を示せ。

【答】 宇部地区の県営ほ場整備事業に関する説明会は、昨年11月の全体説明会後、地区説明会を開催しており、3月中には全地区での初期の説明会を終了する。

市としても、県が行っているほ場整備の調査に協力しながら、結果に応じた個々の対応をし、事業導入の可能性を注視していきたいと考えている。

◆濱欠 明宏 議員

県内建設会社91社の排除勧告の動向は

【問】 県内建設会社91社に出された公正取引委員会の排除勧告に市内の何社が該当し、審決が下った際の指名停止期間はどのようになるのか。

【答】 公正取引委員会の排除勧告を受けた市内の業者は4社と承知している。

本年1月に結審したことから、今後審決が下されるものと認識しているが、業者側の動向を注視し審決の内容等を把握のうえ、国・県の裁定を待って、対応していきたい。

No. 14号

■編集　久慈市議会広報編集特別委員会

■発行　久慈市議会　久慈市川崎町一番一号

■印刷　㈲ヘイハン印刷

みなさんからの 請願・陳情

昨年１年間で市議会に提出のあった請願は12件で、11件が採択、１件が取り下げとなりました。採択された請願は次のとおりです。

■タクシー事業の規制緩和の見直しを求める請願
提出者　岩手県タクシー協会久慈支部支部長　ほか

■「国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書」の提出を求める請願
提出者　久慈地方森林組合代表理事組合長　ほか

■介護職員の待遇改善について請願
提出者　岩手県介護老人保健施設協会会長　ほか

■県北沿岸振興のため「久慈地方振興局」の更なる体制強化を求める意見書の提出を求める請願
提出者　平和環境久慈地区労センター議長　ほか

■義務教育費国庫負担制度堅持及び負担割合二分の一復元を求める請願
提出者　岩手県教職員組合九戸支部支部長

■教育予算の拡充、教職員定数の改善を求める請願
提出者　岩手県教職員組合九戸支部支部長

■原油高騰への緊急対策についての請願
提出者　岩手県生活協同組合連合会会長理事　ほか

■ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願
提出者　農民運動岩手県連合会

■岩手県立久慈病院の常勤医師確保と充実を求める請願
提出者　地域医療を守る会代表

■介護保険制度の改善を求める請願
提出者　岩手県社会保障推進協議会会長　ほか

■保険業法の制度と運用を見直し、自主的な共済の保険業法の適用除外を求める請願
提出者　久慈民主商工会会長

傍聴席からひとこと

市議会を傍聴して

鳥谷峯　勝　美
久慈市夏井町

夏井公民館事業の成人教室「久慈市議会見学」の一員として、久方ぶりに３月４日午後１時から３時まで３月議会の一般質問を傍聴させていただきました。

質問の中で自分も会員の「市道久慈・夏井線整備促進協議会」が中心となって請願している道路整備の問題も議論されておりました。

市道久慈夏井線の進捗状況に関する市当局の答弁で、「既存の道路である夏井川の堤防、市道夏井線や広域農道の拡幅整備と比較検討してみる必要がある」とありましたが、既に調査・測量を実施済みの市道久慈夏井線について、現時点での答弁にしてはいささか疑問が残る内容であり、寂しい気持ちで拝聴しました。

久慈夏井線の早急な整備を

請願してから相当年経過しております。地元関係者にすれば早急に対処してもらいたい問題でありますから、議会で議論していただくのも必要ですが一日も早い本路線整備へたゆまない努力をお願いするものでございます。

公民館の担当者には貴重な体験の企画ありがとうございました。

議会を傍聴しませんか

●次回の定例会は、６月です。

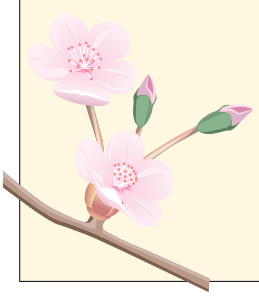
編集後記

議会広報編集特別委員会
委員長　小野寺　勝　也

季節はめぐり春本番。桜の花も里から山へと移ってきています。

身も心もはずむ春ですが人間社会は百年に一度といわれている「冬の時代」です。

そんな世情を反映し、今議会では雇用問題、地域経済の動向、福祉問題など仕事とくらしに直結する課題が多く論議されました。

景気の回復、雇用の確保などは政府の施策に負うところが大きいですが、自治体としても最大限の努力をしたいものです。

人間社会にも早く春が訪れることを信じて。